

平成27年度 社会福祉法人さくらんぼ 事業報告

1. 当法人の歩みを振り返り、現状を点検する

課 題	実施内容
<p>家族会運営の作業所に始まる当法人の展開してきた事業や支援を、次の点について振り返り、現状や課題を考察する。</p> <p>①支援の内容や利用者との関係 ②職員の体制・人材～研修 ③運営の状況</p>	<p>①職員会議において、グループワークで考えた。また、支援の内容や利用者との関係を点検し合うため、定期的な事例検討の機会を設けた。</p> <p>②処遇改善、研修カリキュラムを作成し、来年度試行する。少ない職員の現場での新人育成に課題が残る。</p> <p>③事務局長だけでなく、施設長全員が運営について考えられるように事務局会議において議論を重ね、運営と利用者のニーズの合致する方向を考えた。</p>
<p>総 括</p>	<p>職員の退職や休職が続くも求人に応募がなく、職員が充足しない状況の中、法人全体で助け合う体制はできたが、過重な勤務に加え、休暇が取りにくく、体調を崩す職員もいた。支援の継続と質の担保を実現するためには、職員が意欲を持って働き続けることが重要であり、それらを支える運営基盤の安定について、総合的に考えた。</p>

2. 法人の方針及び長期計画の作成

課 題	実施内容
<p>①法人の方針の確認 1. の結果を基に、利用者・家族、役員、支援者とともに、今後の法人の方針を確認する。</p> <p>②法人の中・長期計画の作成 当法人の方針に基づく、長期（5～10年程度）事業計画、及びそれを実施できるような安定した運営体制の整備についても検討し、中・長期計画を作成する。</p>	<p>①役員交流会で意見交換したが、利用者・家族や支援者と共に考える機会は持てなかった。</p> <p>②運営の安定や職員の待遇改善等について、今後の計画を検討したが、①法人の方針に沿った中・長期計画の作成には至らなかった。</p>
<p>総 括</p>	<p>1. の①で運営と関連づけて法人の方針について事務局会議で話し合うことは多くあったが、利用者・家族や支援者と考えるには、どのようなタイミングでどのような機会を設けるのが良いか迷った。</p>

3. 本年度事業及びイベント

課題	実施内容
<p>①「風の谷」の移転・開業（店舗としての営業再開）を行う。 「風の谷」の移転・開業に向けて、利用者・家族、役員、支援者ともに検討する。</p> <p>②20周年記念イベントを行う。 活動開始から20年の節目である26年度から延期した記念イベントを開催し、法人の方針及び中・長期計画を披露するとともに、改めて当法人の理念に賛同いただける支援者を募る機会とする。</p>	<p>①年度末に適した物件が見つかり、現在準備進行中である。</p> <p>②①風の谷の新規開業が次年度の6月頃に持ち越しになったため、新規開業後に法人設立10周年のイベントとして改めて開催する。</p>
<p>総括</p>	<p>1. 2. を法人の軸として、①を実現したことを区切りとし、②において発表し支援の輪を広げたい。</p>

## 平成27年度 デザイン工房エアー企画（内職班） 事業報告

## 1. 利用者の状況 ■今年度目標利用者数：16.0名 ◆昨年度実績…平均利用者数：17.3名

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	29	29	29	29	28	28	28	28	28	29	29	28	
延べ利用者数	388	343	415	351	311	324	343	309	278	282	344	401	4,089
開所日数	21	18	22	21	18	19	21	19	19	19	20	22	239
平均利用者数	18.5	19.1	18.9	16.7	17.3	17.1	16.3	16.3	14.6	14.8	17.2	18.2	17.1
目標達成率	115.5%	119.1%	117.9%	104.5%	108.0%	106.6%	102.1%	101.6%	91.4%	92.8%	107.5%	113.9%	106.9%

## 2. 工賃の状況

## ①作業収入 ◆昨年度工賃支払実績…1,114,953円

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職	144,749	99,239	155,756	93,930	95,862	102,530	111,524	101,405	97,195	79,816	100,510	75,267	1,257,783
印刷	0	15,360	17,380	1,212	6,178	7,974	1,050	0	0	0	38,461	0	87,615
資源回収	3,790	2,775	3,845	3,105	5,585	4,530	3,320	2,750	4,050	2,890	2,850	3,365	42,855
その他	0	0	0	0	0	3,000	0	12,852	3,000	0	0	20,777	39,629
諸経費	3,276	2,556	2,916	1,512	1,375	0	2,952	2,448	3,636	3,888	3,528	1,152	29,239
支払総合計	145,263	114,818	174,065	96,735	106,250	118,034	112,942	114,559	100,609	78,818	138,293	98,257	1,398,643

○内職：箱折、建具組立、部品袋詰等

○その他：ふるさと（老人給食）手伝い、チューリップ販売

## ②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…内職：108.9円、資源回収：282.8円、資源荷出：108.3円、平均工賃：3,736円

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内職単価	134	127	151	104	117	133	125	138	158	166	144	91	132.3
資源回収単価	315	231	192	194	279	377	276	229	357	405	142	280	273.1
資源荷出単価	41	39	40	53	90	78	59	59	49	88	47	56	116.5
工賃支払人数	24	25	26	24	23	25	24	24	25	21	25	26	292
平均工賃	6,042	4,608	6,176	3,976	4,386	4,714	4,664	4,853	4,311	4,833	4,845	3,751	4,763
最高工賃	11,313	8,650	13,384	8,673	8,991	11,344	10,802	115,809	11,615	12,461	10,982	8,132	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年作業
H27. 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2日、9日、17日、24日 ダイソー 企業実習</li> <li>・8日 チャレンジ事業振返り</li> </ul>	<b>【内職】</b> 部品の袋詰・組立、箱折、DM封入、タオル畳み、シール剥がしなど
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20日、26日 メンバーミーティング（資源回収と作業の休憩時間について）</li> <li>・27日 GW（就労希望利用者に向け）</li> </ul>	<b>【印刷】</b> 兵家連、尼家連、尼崎園田家族会、こあら 等
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日～2ヶ月間 チャレンジ事業参加</li> <li>・1日～12日 日本管財 企業実習</li> </ul>	<b>【資源回収】</b> 月曜日：回収、火曜日：荷出 （新聞、ダンボール、古着、アルミ缶等）
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2日 チャレンジ事業振返り</li> </ul>	<b>【その他】</b> ・ふるさと（老人給食）手伝い（12/3）
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6日 チャレンジ事業振返り</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14日～10/16 社協 企業実習</li> </ul>	<b>通年でやっている支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同行支援 27回                              （ハローワーク、みのり、生活保護課、面接、企業見学、合同面接会、年金事務所、園田支所）</li> <li>・同伴受診 7回</li> <li>・主治医に相談 3回</li> <li>・訪問 9回</li> <li>・家族面談 4回</li> <li>・担当者会議 1回</li> <li>・面会 1回</li> <li>・ワークグラッド OB面談 7回</li> <li>・カンファレンス 3回</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16日 社協振返り</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20日 防災訓練</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9日 がんばるDAY 参加</li> <li>・25日 大掃除</li> <li>・28日 茶話会</li> </ul>	
H28. 1月		<b>実習生受入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎健康医療財団 看護専門学校（看護）</li> <li>・神戸医療福祉専門学校中央校（精神）</li> <li>・園田女子学園大学（看護）</li> <li>・神戸女子大学（精神）</li> <li>・武庫川女子大学（精神）</li> <li>・大阪樟蔭女子大学（精神）</li> <li>・大阪健康ほいく専門学校（精神）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25日 防災訓練</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2日、30日 メンバーミーティング（CDについて、お花見について）</li> <li>・9日 ピアカウンセラー養成講座 参加</li> </ul>	

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		上半期の課題	取り組みと今後
利用者の状況	1	<p>①業務整理を行い、個別面談を行える体制を整えてきた。各利用者の現状把握や利用目的などを聞き取る個別面談を強化し、個別支援計画に反映させる。また、作業を通して、今まで以上にアセスメントを丁寧に行う。</p> <p>②利用者から事業者への要望・意見等を聞き出し今後の事業所の在り方を考える。</p> <p>③個別面談の内容を職員間で常に共有し、協調して支援する体制を整える。</p>	<p>①上半期は個別支援計画が85%、フェイスシートが80%の達成（入院中の利用者含）だった。年度での実績としては個別支援計画もフェイスシートも同じ1名を除く全員の個別支援計画とフェイスシートが完了している。個別支援計画を作成したことによって、ニーズや想いを今まで以上に伺うことが出来、同行支援なども増えてきている。今後も継続して行う。</p> <p>②面談時に利用者の状態把握のみならず、事業所への要望等も聞き取った。今後も継続して行う。</p> <p>③新人職員が入り、丁寧に行った。</p>
作業等の状況	2	<p>作業について、利用者が積極的に自分の意見を発言する場（メンバーミーティング）を活用し、作業への取り組み方・効率性・質の向上に取り組み、工賃アップを図る。 加えて、当事業所の職員だけでなく、当法人職員全体で工夫やアイデアなどを出し合って考えられる環境を作る。</p>	<p>利用者から作業について意見が出たため、作業についてのミーティングを2度行った。効率よく作業することにより、工賃アップも達成できた。職員会議等で職員全体に作業状況を報告している。作業があまりない場合には、都度他職員にも相談できている。 工賃アップを常に目標としたいところだが、現状で無理をされている利用者もいるため、現状維持を目標にし、利用者の体調を図りながら作業をしていく。</p>
	3	<p>モチベーションが下がらないような作業を提供し、「社会参加」「やりがい」「達成感」等を感じられるような環境を作る。</p>	<p>上半期も下半期も作業が途切れることなく提供することができた。その効果か、午前のみ利用の利用者が1日通して作業をする場面も見受けられた。 作業があまりない時には、効率を悪くし、作業工程を増やすなど作業が途切れないよう工夫した。</p>
生活支援	4	<p>利用者個々の心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送る上での必要な対人関係の助言・援助を行いながら自立した地域生活が送れるよう支援する。 また、さくら工房と併用利用している方に対しては、B型と地活の役割を整理し、共通の認識を持って連携し支援する。</p>	<p>アセスメントを強化したことにより個々に合った支援が行えた。さくら工房と情報共有を密にし、連携が取れていた。今後も継続して行う。</p>
就労支援	5	<p>就労を希望する利用者には、作業を通して、就労に必要な知識や能力を向上できるよう支援する。 就労を希望する利用者で準備の整った利用者に対し、求職活動を支援する。</p>	<p>就労を希望する利用者には個別支援計画作成時に就労に必要な知識や能力について一緒に考え、目標を立てているため、作業中においても意識して作業されている利用者が多い。今後も継続して行う。 就労の準備が整った利用者が就職することが出来たが、2件とも1ヶ月を満たさず退職された。来年度からは就労後長く続けられるよう認知行動療法を元に支援する。</p>

## 平成27年度 デザイン工房エアー企画（調理班） 事業報告

1. 利用者の状況 ■今年度目標利用者数：8.0名 ◆昨年度利用者実績…平均利用者数：7.0名 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	15	14	14	14	15	15	15	14	14	15	16	15	
延べ利用者数	157	113	134	151	140	143	143	120	115	129	142	151	1,638
開所日数	21	17	21	21	18	19	20	19	18	19	19	21	233
平均利用者数	7.5	6.6	6.4	7.2	7.8	7.5	7.2	6.3	6.4	6.8	7.5	7.2	7.0
目標達成率	93.5%	83.1%	79.8%	89.9%	97.2%	94.1%	89.4%	78.9%	79.9%	84.9%	93.4%	89.9%	87.8%

## 2. 工賃の状況

①作業収入 ◆昨年度工賃支払実績…1,733,450円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食事提供	56,150	77,300	101,900	97,570	77,630	77,360	68,650	72,100	69,450	104,330	80,570	80,570	963,580
出張販売	4,240	0	0	0	0	15,000	0	21,310	0	0	0	0	40,550
売上合計	60,390	77,300	101,900	97,570	77,630	92,360	68,650	93,410	69,450	104,330	80,570	80,570	1,004,130
支払総合計	35,070	40,599	56,863	58,830	47,814	52,800	36,632	56,371	41,811	61,933	46,153	48,055	582,931

②支払工賃 ◆昨年度工賃実績…平均単価：307.4円、平均工賃：4,072円 (単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間単価	140.0	234.0	223.0	205.0	189.0	200.0	152.0	242.0	207.0	257.0	181.0	199.0	202.4
支払人数	15	13	13	14	14	14	14	13	13	12	14	11	160
平均工賃	2,338	3,123	4,374	4,202	3,415	3,914	2,617	4,336	3,216	5,161	3,297	4,369	3,643
最高工賃	4,690	5,967	9,366	10,147	7,938	8,800	8,588	9,354	7,659	9,637	6,516	7,860	

3. 活動報告

実施月	主な活動内容	通年で行っている事
H27. 4月	・8日 お花見 ※お弁当の注文を受け販売	【食事提供】 ・調理作業 ・接客作業
5月	・1日 メンバーミーティング ・14日 スポーツ大会(7名参加)	
6月		
7月	・10日 メンバーミーティング ・28日～30日 家族会見学	通年で行っている支援
8月	・10日 レクリエーション（クレープ作り・12名参加） ・11日 大掃除（11名参加）	・面会 2回 ・訪問 4回
9月		・同伴受診 14回 ・同行支援 1回
10月	・27日 レクリエーション（須磨海浜水族園・7名参加）	・家族面談 1回
11月	・6日 メンバーミーティング ・14日 外部販売（きずなちゃんまつり・7名参加）	・カンファレンス 4回
12月	・17日 もちつき会（5名参加） ・25日 大掃除（7名参加） ・28日 レクリエーション（たこ焼き・8名参加）	実習生受入
H27. 1月	・4日 メンバーミーティング	・神戸医療福祉専門学校(精神) ・大阪樟蔭女子大学(精神) ・大阪健康ほいく専門学校(精神)
2月		
3月	・30日 メンバーミーティング	

4. 上半期の課題への取り組みと今後

		上半期の課題	取り組みと今後
利用者の状況	1	<p>①個別面談を一層充実させ、その内容を個別支援計画に反映させる。また、作業を通して、今まで以上にアセスメントを丁寧に行う。</p> <p>②計画している事業所について、利用者からの要望・意見等を聞き出し、できる限り活用する。</p> <p>③個別面談の内容を職員間で常に共有し、協調して支援する体制を整える。</p>	<p>①事業所を閉所するなどの工夫をすることで面談時間を確保し、丁寧な面談を行う事が出来た。それにより利用者の思いに添った個別支援計画が作成できた。</p> <p>②新しい事業所については、物件探しに時間がかかり、具体的な話が出来なかったが、物件が決まり、今後は、要望、意見などを取り入れた具体的な話し合いを行っていききたい。</p> <p>③個別面談の内容については、常に共有してきたが、3月に新しい職員も入った為、今まで以上に丁寧に行っていききたい。</p>
		<p>①作業の変化に対応できるように調理・接客の技術向上を目指し、また自信や働くことへのやりがいを感じられるように取り組む。</p> <p>②利用者が積極的に自分の意見を意見を発言する場（メンバーミーティング）を活用し、作業への取り組み方・効率性・質の向上を図り、工賃の安定確保につながるように取り組む。</p> <p>③作業については、当事業所の職員だけでなく、当法人職員全体で工夫やアイデアなどを出し合って考えられる環境を作る。</p> <p>④モチベーションが下がらないような作業を提供し、「社会参加」「やりがい」「達成感」等を感じられるような環境を作る。</p>	<p>喫茶作業から、昼食提供を作業とし1年間続けてきたことにより、調理の技術を身につけることができ、作業への責任感や、やりがいを感じる取り組みができた。</p> <p>今後新しい店舗に移転することで、さらに自分たちの「お店」という思いを持ち、メンバーミーティングなどの場で、工賃アップのためのメニュー作りや集客への工夫など色々な取り組みができると思われる。</p>
作業等の状況	2	<p>利用客が事業所内で登録者だけのため、売上が限られてくることもあり、工賃の確保が難しく、今後何らかの工夫が必要である。</p>	<p>メンバーミーティングで工賃確保のため、「きづなちゃん祭り」でのカレー販売の参加を決め、多くの利用者がシフトを組み、販売活動を行った。</p> <p>また、当法人の役員交流会のオードブル料理の注文を受けるなど、利用者のモチベーションアップにつながった。</p>



平成27年度 ファレ「モナモナ」 事業報告

1. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活支援登録者数	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	
初日通所人員	8	8	9	8	7	7	8	7	6	5	5	5	
開所日数	20	18	22	21	18	19	21	19	18	19	20	22	237
夕食提供日	15	14	18	17	15	15	16	15	13	15	17	17	187
夕食利用者平均	7.3	7.2	6.7	6.5	6.6	7.4	6.8	7.8	8.0	8.5	9.1	9.4	7.6

2. 現状と課題

①-1 生活支援（モナモナ登録者）

<状況>

- ・法人全体の人事異動に伴い、11月から職員体制がやや手薄となる。他所よりヘルプの体制を取っていたが、各所の員不足や支援の状況によりヘルプが十分に出来ない事もあり、午前中を訪問等に充てるため、留守録対応にせざるを得ない状況が続いた。
- ・4月からの事業変更に伴い、利用者の不安を少しでも軽減するため個別に丁寧に説明を行った。
- ・来所が難しい利用者には引き続き、電話、訪問等を行った。

【上半期課題と取り組み】

他所へ異動された方がいるため日中の利用者が減っている。

⇒4月からの事業変更もあったため積極的な新規の受け入れ等を行わなかった。

①-2 生活支援（他事業所利用者）

<状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別支援	10	10	13	9	11	7	10	9	10	12	5	3	109

※個別支援とは金銭管理、訪問、同伴受診等を行った回数。

②夕食提供

<状況>

- ・入院していた方が退院後、利用再開となったため、人数は増加している。また、月単位で予約する利用者も増え、全体的に安定している。

第1号議案（事業報告）

③その他、プログラム等

＜状況＞

- ・ワープロに関しては参加者なし。そのため、特に日程を決めず申込者がいれば実施するという形に変更し、希望者を募ったが参加者はいなかった。来年度からは中止とする。
- ・レクは参加者も少なく、参加費が発生すると利用されない方もいたため、レク自体を行う事が難しい状況であった。

## 平成27年度 さくら工房 事業報告

### 1. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	35	35	35	35	36	36	37	37	37	37	37	37	
初日通所人員	22	23	22	25	23	24	25	24	24	24	24	24	284
開所日数	20	17	22	21	17	19	20	19	18	19	20	21	233

### 2. 現状と課題

#### ①生活支援

##### <状況>

- ・4月からの事業変更に向けて不安を訴える利用者には丁寧に説明することを心がけ、混乱なく過ごせるよう配慮した。
- ・今まで登録料として利用者から1,000円徴収していたが法人指導課より不適切との指導があり、今年度より取りやめた。今までの残りの登録料に関しては利用者に還元できる形を利用者と相談した。その結果、何度かレクを行ったり、さくら工房の備品等に使用させていただいた。

##### 【上半期課題と取り組み】

併用利用の方の生活支援や就労している方の支援が大幅に増え、さくら工房のみの登録の方への支援が柔軟に行えないことがあった。その場合は、モナモナと連携を取りながら支援してきたが、定期的に職員体制が整わない風の谷の補助も行っていたため、日常的に職員が手薄だと感じる場面が多かった。  
⇒4月からの人事異動のため3月から引き継ぎ等でモナモナへの定期的な補助、サポートセンター、風の谷の補助もあり職員が手薄な事が日常化していた。そのため、できるだけ業務を整理・分担し、効率よく行えるようにした。また、4月からの事業変更へ向けて不安を抱える利用者には丁寧に時間をかけて説明することを心がけた。

#### ②個別支援

##### <状況>

- ・退職した利用者に対し、ハローワークに同行する等就労へ向けての支援を行った結果、就職が決まった利用者がいた。
- ・必要に応じて訪問、手続き等の同行、同伴受診等の個別支援を行っている。
- ・長期入院の方や夜間休日の支援の必要性のある方について、サポートセンターと連携を行ない、退院後必要な支援ができるよう地域定着支援などにつないだ。
- ・11月より預り金規定に基づき契約者は5名（内1名は11月～3月と短期であった）。現在の契約者数は4名。

## 第1号議案（事業報告）

### ③生活トレーニング

#### <状況>

様々な場面で利用者の意見聞く機会を持ち、利用者主体で活動できるよう心掛けた。

### ④家族会支援

#### <状況>

園田家族会の事務局を継続して「さくら工房」に置き、家族会との連携に努めた。

### ⑤ボランティア支援

#### <状況>

- ・ ボランティアグループ「フローラル・ルース」に例年通り定例会の他、カラオケ、ボーリング、お寺巡り、DVD鑑賞、忘年会等を実施していただき、また各種お祭りのお手伝いにも参加していただいた。
- ・ 当事者会「レインボー」の支援を行っていたが、12月に解散が決まり支援は一旦終了となる。
- ・ 社協からの依頼により社会福祉法人尼崎あすなろ福祉会と協力し、ボランティア講座を開催した。（5日間のうち1日をさくら工房で実習とした）社会福祉法人尼崎あすなろ福祉会のボランティアグループからも多くの方が参加してくださりフローラルスースの方との交流を深めることができた。

### ⑥関連事業

#### <状況>

- ・ 地域の関係機関の連携強化等

園田地域振興課「コミュニティールーム園田」に役員として積極的に参加し、他施設のみならず、他団体との交流も深める事ができた。また、「きずなちゃん祭り」に利用者に参加した。

### ⑦環境の整備

#### <状況>

4月からの事業変更へ向け、作業スペース等の確保のため模様替えを行った。

## 平成27年度 サポートセンターさくら 事業報告

## 1. 利用者の状況

## A) 委託相談支援業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	40	35	39	40	35	38	39	38	42	45	42	41	
訪問回数	12	11	15	19	19	19	17	19	20	12	16	15	194
来所相談回数	32	15	20	21	21	21	19	15	18	19	11	19	231
同行回数	27	15	11	11	11	11	6	13	13	6	8	20	152
電話相談回数	63	47	58	47	47	47	51	64	49	69	53	66	661
個別支援会議	4	2	8	7	7	7	6	3	4	2	6	6	62
その他※	4	3	5	6	6	4	7	6	5	7	6	7	66

※尼崎市障害者自立支援協議会等（注1）運営部会議、あまがさき相談支援事業所連絡会、  
兵庫県精神障害者地域移行・定着支援協議会 等

## B) 指定特定・指定一般相談支援業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①計画相談	0	0	0	0	2	1	0	1	5	2(1)	6(3)	3(1)	20(5)
②地域移行	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
③地域定着	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	7

※すべて、実人数

## 2. 現状と課題

## A) 尼崎市委託相談支援事業

## &lt;状況&gt;

- ・ハローワークやA型や就労移行の事業所からの紹介については、相談支援としてどの様に関わるかを考えながら受けた。一方で、ヘルパー事業所と連携するなかで、「専門家に相談できて安心」というお言葉もいただいた。

## 【課題と現状】

- 会議出席やそれに伴う事務作業、日常の事務作業などを効率的に行う工夫をする。  
⇒事務作業については、ポメラ導入と業務の流れをつくり、個人の資質も手伝って、スムーズになっている。

## 第1号議案（事業報告）

- 複数担当制にして、支援の質や職員のサポートを担保する。

⇒法人内他部署からの移動職員を迎え、同行や連絡を綿密に行ったので、安心して同じ方針で関わることができた。

### B) 計画相談、地域移行・地域定着支援事業

<状況>

- ・今年度は、別表のように、主に下半期に計画相談を行った。
- ・法人内利用者の計画相談は、必要性の高い人のみにとどまった。

#### 【課題と現状】

- 円滑かつ効率的に事業が行えるように、業務の流れを作る。

⇒手順がやっと見えてきたが、申請書類や契約書のやりとり、受給者証を預かる場面があるなど、事務を管理する体制づくりが必要。また、担当課や請求事務との連携もうまくいかず、請求ができなかったこともあった。本部建物に移転後に事務分担の再考も含めて、次年度の課題である。

- 地域移行・定着支援を様々な事業所が行えるように、市や他の委託事業所とともに、啓発していく。まずは、さくら工房とファレ「モナナ」が行っている面会を、地域移行支援にできるように連携する。

⇒ポルタ主催の地域移行協議会を担当課とともに共催した。また、法人内の支援を地域定着支援や計画相談に結びつけた。

### A) B) 共通

<状況>

- ・下半期は、職員が2名の状況が続き、掃除や資料整理・環境整備などが滞った。

#### 【課題と現状】

- 各職員がスケジュールを自己管理したうえで、全体の業務が円滑にすすむように、ミーティング等の形態・内容や事務の分担などを工夫する。

⇒休職中の職員の復帰時期が、何度も延長したため、支援の引継ぎが難しかったが、他所職員の応援と移動してきた職員の資質もあり、相談者に迷惑をかけることなく業務が遂行できた。

- 受ける範囲や支援の範囲を考える、また、3人体制でB)の事業も行う中で、受けられる件数についても考えていく。

⇒新規の受け入れについては、職員が3名そろい、本部建物に移転する中で事務分担も再考するなど、次年度に検討が必要。

### C) その他

<状況>

- ・障害支援区分判定審査会や成年後見等支援センター運営会議などに参加。
- ・尼崎市精神障害者家族会連合会の支援については、今年度までに全ての家族会で代替わりが終わり、連合会会長も交代されたため、事務仕事や各家族会支援は軽減した。